

酒井俊^{vocal}
向島ゆり子^{violin}
会田桃子^{violin}

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2022 **05月18日(水)**

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替無)(1drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



向島ゆり子

ヴァイオリン、ピオラ、アコーディオン、作曲、編曲、たまに歌。10代より活動をはじめ。工藤冬里らとの「マシンガンタンゴ」や、久下恵生、篠田昌巳、今井次郎らとの「PUNGO」、梅津和時、巻上公一らとの「ベツニナンモクレスマー」など様々なバンドに関わる。96年にはオリジナル曲を集め「right here!!!」を発表。FM 東京で特集番組が組まれたり、テレビ番組に楽曲が使われるなど各方面から注目される。2000年スウェーデンの鬼才故ラッシュ・ホルメルとのDUOアルバムを発表。2002年ラッシュ・ホルメルらとのスウェーデンツアーにてコンサート、テレビ番組に出演。2004年オランダの「ウェレム・ブロイカー・コレクティブ」来日に際し、日本人唯一のゲストメンバーとして参加。2015年ICPやセシルテラーグループで知られるトリスタン・ホンジンガーらとのヨーロッパツアー、グローニンゲンサマーフェスティバル等で演奏。2018年デヴィッド・ルヴォー演出「黒蜥蜴」@日生劇場、梅田芸術劇場に、楽士として出演。2018年ブス会*、安藤玉恵出演「痴人の愛」に出演。2019年ブス会*、鈴木砂羽出演「エーデルワイス」にて、音楽監督をつとめる。2019年ケラリーノ・サンドロヴィッチ演出、KAAT公演「ドクター・ホフマンのサナトリウム」に出演。

酒井俊

1976年、伝説のJAZZ CLUB「ミスティー」で歌い始める。翌年には初めてのアルバム「SHUN」がリリースされ、センセーショナルな反響を呼ぶ。リーダーアルバムを続けて計3枚、また手元にあるなしを含めた多くのレコーディングに参加、と同時に殆ど休まずに歌う約2年半を過ごしたが、そして帰国。約8年間の子育てを主にする家庭生活に入る。その後、日本語の歌を積極的に取り入れた方向で渋谷毅と再会、復帰する。様々な国の様々な唄を歌い続け、阪神淡路大震災の後に生まれた「満月の夕」と運命的な出会いを果たす。「満月の夕」を歌うにあたっての賛否両論の中、何年にも渡って毎夜歌い続け、2003年には「第45回日本レコード大賞企画賞」を受賞、2004年辺りからそれまでの活動を見直し、新たな音とうたの可能性を模索中。従来の音・うたのあり方から大幅に変化すべく、即興演奏・民族音楽の影響・トラディショナルへの傾倒を反映しつつ、セッションではない継続を、演奏家たちとの終わりのない共同作業へとその時間は積み重ねられており、09年には8年振りの2枚組「Night At The Circus vol.1」を、10年には「PLAYS STANDARD vol.1」「a few little things」を制作。ジャケットは、絵本作家荒井良二氏の描き下ろしイラスト24作品……という豪華盤を2枚同時発売する。そして12年には「螺旋階段な日常」をリリース、現在に至る。また、10、11、12年とベトナムにて歌うなど海外にても活動の幅は広がっている。

会田桃子

3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽学部卒業。日本を代表するアルゼンチンタンゴ奏者の一人で、ジャズ、ポップス、など幅広い音楽シーンでもソロバイオリニストとして活躍中。また歌手、作編曲家としても活動しており、アーティストへの楽曲提供も多数している。自身のバンドで毎年恒例となっている韓国ソウルでの2000人規模の大ホール公演は、毎年SoldOutの人気を誇る。2017年アルゼンチン大統領来日歓迎晩餐会に日亜文化交流に貢献した功績を認められ招待された。2019年1月ミュージカル「Great Comet of 1812」にミュージシャンキャストとして出演。2020年8月女優渡辺えり主催「女々しき力プロジェクト序章」3作品の劇中音楽、劇中歌の作曲及び演奏を担当した。